

マイクロソフト社更新プログラム [912812] 適用による影響について(ご連絡)

記

1. Internet Explorer の仕様変更について

マイクロソフト社は Internet Explorer(以下、IE)の更新プログラム 912812 を 4月12日(日本時間)に [優先度の高いパッチ]として公開し、自動更新の対象としました。

当該更新プログラムが適用された場合、IEの ActiveX、Java アプレットに関する仕様が変更されます。

([関連情報: http://support.microsoft.com/kb/912812/ja](http://support.microsoft.com/kb/912812/ja))

現時点で、IEの仕様変更による、Sorja21への影響を以下の通り確認していますので、ご確認並びにご対応の程、よろしくお願い致します。

2. 対象製品、機能について

- ・ Sorja21 基本パック(2005/07/11～発売)
- ・ Sorja21 拡張オプション(2004/11/15～2005/07/10 発売)

上記、2 製品の「ダイレクト編集機能」、「ドラッグ & ドロップファイル登録機能」、「サムネイル表示機能」

3. 影響と対応について

・影響

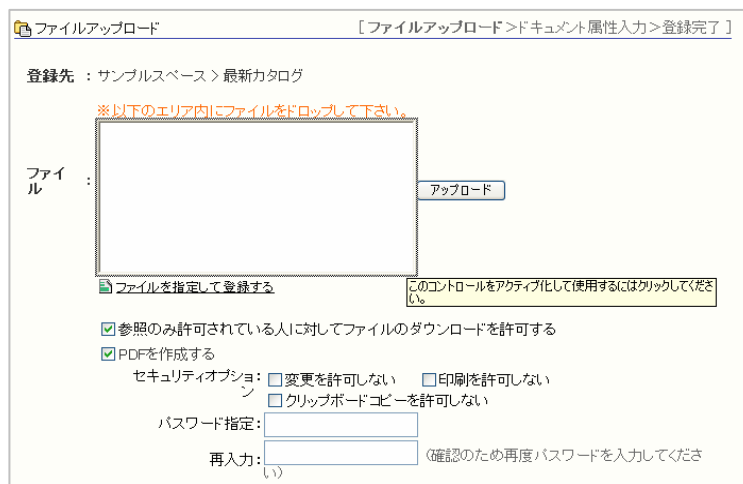
対象機能を利用する際に、クリックを促すメッセージが表示され、クリックが必要となる現象を確認しています。(「このコントロールをアクティブ化して使用するにはクリックしてください。」)

・対応

メッセージに従い、クリックを行う。

*利用者の操作が一回増える事になります。

(メッセージ例)



以上

お問合せ先: (株)富士通四国システムズ
製薬ソリューション部ドキュメントグループ

e-mail sorja-support@shikoku.fujitsu.com

*本レポートは、「MS 社更新プログラム[912945]による影響について」を 4月12日公開された情報に修正したものです。